

平成30年度 事業報告書



社会福祉法人 春献美会 介護事業部門

- 1、 デイ・ホーム たんぽぽ（通所介護）
- 2、 グループホーム たんぽぽの郷
- 3、 小規模多機能型居宅介護 たんぽぽの郷

平成 30 年度 デイ・ホーム たんぽぽ事業報告（通所介護）

平成 30 年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。
数値に関しては、平成 30 年 5 月 31 日の数値となっています。

1、職員数（平成 30 年 5 月 31 日時点）

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	備考
管理者		1 名		介護職員兼務
生活相談員		1 名		介護職員兼務
介護職員	2 名		1 名	

2、利用定員 1 日 7 名 平均年齢 82 歳 平均介護度 2
 営業日数 44 日 1 日平均利用者数 3.4 人 平均稼働率 49.6%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	21 日	22 日											43 日
最大人数	147 人	161 人	平成 30 年 5 月 31 日をもって事業廃止とする。										308 人
延べ人数	91 人	62 人											153 人
稼働率	58%	39%											49.6%

3、事業目標

①「家庭的な環境で個別のサービスを行うことでその人らしさ、集団のサービスを行うことで社会の一員としての交流を支援する」

小人数のケアを行っていることで、利用者様のちょっとした不安に気付き、個別に対応することで、その後の集団の中でもなじめることが出来たように思います。
 又、調理・掃除・洗濯等の家事等や趣味活動等を通して社会の一員としての居場所や役割も作ることが出来ました。
 5月31日での事業廃止を受け、通所介護を利用されている利用者が他事業所に移られる際にも「その人らしさ」を理解頂けるよう、受け入れ先の事業所や担当のケアマネージャーに対してサービスの移行に支障がないように情報提供を行いました。

4、利用者処遇

① ICF（国際機能分類）に基づいた個人分析を行い、個別計画書を作成し、個を知り、個に寄り添い、個の意思を尊重し、個々に適した活動の提供を実施する。

- ② 認知症中重度の利用者支援として、スタッフ全員が認知症の外部研修に参加し、認知症ケアについて学びを深める。

新規の利用者や状態変化のあった利用者に対し、ICFシートを用いて個別分析を行うことで、利用者の抱えている問題や潜在的な能力や資源に気付くことで出来ました。外部研修に関しては、事業廃止の為、参加することはできませんでした。

5、 個人情報保護、情報開示

- ① 個人情報保護法に関する諸法令を遵守し保護に努める。また、利用目的を明確にし、適切に取り扱う。
- ② 事業内容は、季刊発行される「たんぽぽ新聞」を通じて公開する。
- ③ 6ヶ月に1回開催する運営推進会議にて、情報公開する。
- ④ 3月に実施する「利用者満足度アンケート」の結果を運営推進会議、ホームページ等に公表する。

個人情報保護法に関しては、法令を遵守し、適切に個人情報を取扱いました。情報開示に関しては、季刊発行のたんぽぽ新聞やホームページを通して、事業所の情報を公開しました。

③、④に関しては、5月31日事業廃止となり、実施することができませんでした。

6、 健康管理

- ① 利用開始時に、体温・血圧・脈を測定し、健康チェックを行う。
- ② 感染症の発生や蔓延防止の為に、ホーム到着後はうがいと手洗いの徹底と空気が乾燥する時期は、こまめに換気を行い、空気の入替えをする。

・利用毎に毎回、体温・血圧・脈を測定し、異常値の場合は再測定の実施、ケアマネや家族への情報提供を行ってきました。入浴時には全身観察を行い、発赤や内出血の確認を行うことで、利用者の状態把握に努めました。

・手洗い及びうがいの徹底、1日3回の空気の入替えを実施したことで、感染症等の発生はありませんでした。

7、 苦情解決への取り組み

- ① 苦情が発生した場合は、速やかな対応を行ない信頼の回復にと努める。
- ② 3月に利用者満足度アンケート実施し、利用者及び家族の満足度を調査する。

・特に苦情になるような事柄はありませんでした。利用者や利用者家族から相談を受けた時は、迅速に対応することを心掛けてきました。

8、 防災対策について

- ① 各種想定に基づく通報・防災訓練を年2回以上実施する。
- ② 非常食・ラジオ・懐中電灯等の防災グッズの整備、危険場所の点検、防災器具の配置場所、使用方法の周知徹底を図る。

5月31日事業廃止の為、未実施

9、 ボランティア活動への取り組み

- ① ボランティアや個人の活動を積極的に受け入れる。
- ② 地域福祉を担う一員として、地域の活動にも積極的に参加していく。

・4月、5月とボランティアの受け入れはありませんでした。
・デイの活動の様子をたんぽぽ新聞を通して、地域へ発信し、自治会からは地域の情報を発信頂き、地域の活動や状況の把握に努めてきました。

10、 活動・外出報告

	行事名	内容
4月	施設内活動	音楽リズム体操、カラオケ、脳トレーニング、制作
	行事企画	おやつ作り：「蒸しパン」「クレープ」 昼食作り：「焼きそば」「オムライス」
	外出行事	上谷戸親水公園の鯉のぼり、上谷戸体験学習館「五月人形展」
5月	施設内活動	音楽リズム体操、カラオケ、脳トレーニング、制作
	外出企画	ばら苑（生田緑地）

11、 職員研修

- ① 研修計画に基づき、内部研修や他事業所研修を実施し、知識や技術を習得する。
- ② 個々のスキルアップを図る。

4月内部研修	5月内部研修
倫理規程、法令遵守	緊急時の対応

12、 考察

平成26年4月1日に事業開始した「デイ・ホームたんぽぽ」は、平成30年5月31日をもって事業廃止となる。

地域密着型通所介護事業所として、少人数ケアで細かいところに目が行き届いたケアが提供できることで、中重度の認知症ケアを実践できる通所介護として、需要はあったと思われる。受け入れ人数が少ないため、利用者のお休みがあると稼働率に大きく影響することとなり、目標稼働率を達成することができなかった。

また、デイ・ホームたんぽぽの利用を楽しみにしてくれていた利用者や利用者家族には事業廃止になったことで、迷惑をかけてしまう形となってしまった。

平成 30 年度 グループホーム たんぼぼの郷事業報告

(認知症対応型共同生活介護)

平成 30 年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。
数値に関しては、平成 31 年 3 月 31 日時点の数値となっています。

1、職員数

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	備考
施設長		1 名		計画作成担当者兼務
管理者		1 名		介護職員兼務
計画作成者		2 名		介護職員と兼務
介護職員	8 名		3 名	

2、利用実績

(1) 月別入退居状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入居	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	1 名	0 名	0 名	0 名
退居	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	1 名	0 名	0 名	0 名

入居 合計 3 名 (経緯：在宅 3 名)

退居 合計 3 名 (退居先：特別養護老人ホーム 2 名、介護医療院 1 名)

(2) 年間利用実績

要介護度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護 1	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	64
要介護 2	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	40
要介護 3	8	8	8	8	8	9	9	9	9	8	8	8	100
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
要介護 5	1	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	1	11
合計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
平均介護度	2.33	2.33	2.33	2.33	2.5	2.38	2.38	2.33	2.16	2.27	2.27	2.27	

男性平均介護度 2.3 女性平均介護度 2.5 平均介護度 2.4

(3) 稼働率 (定員 18 名) 平均稼働率 98%

	提供日数	述べ人数	実績	稼働率
4月	30日	540名	540名	100%
5月	31日	558名	558名	100%
6月	30日	540名	540名	100%
7月	31日	558名	553名	99.1%
8月	31日	558名	551名	98.7%
9月	30日	540名	535名	99%
10月	31日	558名	530名	94.9%
11月	30日	540名	530名	98.1%
12月	31日	558名	556名	99.6%
1月	31日	558名	544名	97.5%
2月	28日	504名	476名	94.4%
3月	31日	558名	527名	94.4%
合計	365日	6,570名	6,440名	98%

(4) 年齢構成

年齢階層	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男性	0	2	1	0
女性	3	8	4	0
合計	3	10	5	0

(5) 平均年齢、最高年齢

	平均年齢	最高年齢
男性平均年齢	89.3歳	91歳
女性平均年齢	85.6歳	90歳
平均年齢	87.5歳	

(6) 健康管理 インフルエンザの発症はなし。

入院理由	入院期間
一過性脳虚血発作	7月13日～7月18日
一過性脳虚血発作	7月26日～7月27日
脳梗塞	8月19日～8月27日
肺炎	9月17日～10月2日
肺炎	9月24日～10月31日
骨折	9月25日～10月15日
骨折	1月18日～2月1日
結核	1月19日～3月23日

(7) 事故・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故	0	1	1	1	5	4	3	0	4	4	2	1	21
ヒヤリ	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5

3、 防災訓練実施状況（小規模多機能と合同）

平成 30 年 9 月	平成 30 年 9 月 3 日（月） 10 時~11 時 30 分 職員 6 名、利用者 21 名 合計 27 名で実施。 稲城消防署の方の訓練指導あり。 避難訓練（深夜中庭から出火の想定で、利用者の避難訓練実施） 通報訓練（119 番通報） 消火訓練（水消火器を使い、初期消火訓練を実施）
平成 31 年 2 月	平成 31 年 2 月 27 日（水） 10 時~10 時 45 分 職員 7 名、利用者 24 名 合計 31 名で実施 避難訓練（深夜こもればびベランダより出火の想定で、利用者の避難訓練実施。シーツを利用して、自力避難困難者の避難の練習も実施

次年度、持越し課題

- ① 防災備蓄の必要数確保
- ② 地震時の訓練の実施

4、 運営推進会議活動状況（小規模多機能と合同）

開催日	主な内容
平成 30 年 4 月 14 日	利用状況報告、事業計画、第三者評価公表
平成 30 年 6 月 9 日	利用状況報告、事故、感染、身体拘束廃止
平成 30 年 8 月 4 日	利用状況報告、AED 研修
平成 30 年 10 月 13 日	利用状況報告、口腔ケアセミナー
平成 30 年 12 月 8 日	利用状況報告、特別養護老人ホームとは？
平成 31 年 2 月 16 日	利用状況報告、認知症サポーター養成講座

5、 地域交流事業

平成 30 年 7 月 22 日 「稲城美化デイ」

→たんぼぼの郷外周を利用者と職員でゴミ拾い、雑草抜きを行う。

平成 30 年 8 月 25 日「若葉台夏祭り」

→蒼の区町内会のお手伝いに職員が参加。生ビール売りを手伝う。

平成 30 年 12 月 13 日「餅つき」※ちょうふのぞみ保育園と合同開催

→みどりクラブゆうわ会（老人会）の婦人部の方のお手伝い

蒼の区町内会の参加あり。

6、 クラブ活動等参加状況

●有料サービス

内容	担当	実施回数	平均参加者数
アート鑑賞プログラム	アーツアライブ	月1回	6名
音楽プログラム	リリムジカ	月1回	11名
フラワーアレンジメント	ボランティア	月1回	7名

●ボランティア慰問

読み語り	11回	毎月1回（8月除く）
コーラス	年2回	6月、9月
マジック	年2回	9月、12月
バルーン	不定期	11月
茶道	不定期	12月

7、 委員会活動（小模多機能型居宅介護と合同）

委員会	開催月	活動状況
広報委員会	発行月前月	新聞の発行（4、7、10、1月）
事故防止対策委員会	偶数月15日	事故内容検証、危険箇所チェック
感染予防対策委員会	偶数月20日	感染予防対策、呼びかけ、掲示
身体拘束廃止委員会	4月、7月、10月、2月	身体拘束チェック、
防災委員会	8月、9月、2月	通報、避難訓練の計画、実施

8、職員研修

	外部研修	内部研修
4月	認知症実践者研修（1名）	倫理規程、法令遵守
5月	感染症食中毒（3名）	緊急時の対応
6月	認知症実践者研修（1名）	感染症、食中毒予防
7月	認知症管理者研修（1名）	個人情報保護
8月	高齢者虐待防止研修（1名）認知症研修（1名）	事故発生、再発防止
9月		
10月		感染症防止、感染症対策
11月		非常災害
12月		
1月		虐待防止
2月		認知症
3月	認知症研修（2名）、消費生活センター研修（5名）	ケアプラン

9、行事・外出活動状況

月	活動内容		参加者数
4月	外食		
	外出	お花見 鯉のぼり鑑賞	GH 14名 ひだまり 9名
5月	外食		
	外出	バラ苑（生田緑地）	こもれび 9名
6月	外食		
	外出	あじさい祭り（府中郷土の森）	ひだまり 9名
7月	外食	和食与兵衛	ひだまり 4名
	外出	ちょうふのぞみ保育園夏祭り	ひだまり 4名
8月	外食		
	外出		
	行事	花火	GH 18名
9月	外食		
	外出	ぶどう狩り（山梨県）	GH 12名
	行事	秋祭り	GH 18名
10月	外食		
	外出	保育園運動会（くろかわ） 保育園運動会（ちょうふ）	GH 3名 ひだまり 7名
11月	外食	とんかつ和幸	ひだまり 7名
	外出	イルミネーション鑑賞（読売ランド）	ひだまり 7名
12月	行事	お餅つき（調布望み保育園合同）、クリスマス会 出張寿司	GH 18名
	外出		
1月	行事	新年会	GH 15名
	外出		
2月	行事	節分	GH 17名
	外出		
3月	行事	ひな祭り	GH 17名
	外出	ひな祭り人形展（上谷戸体験学習館）	GH 11名

※個別で、高倉町珈琲、もみの木、コメダ等外食に出かけています。

10、考察

・本年度は「入居者様、ご家族様との信頼関係を築き、情報共有しながら生活を支援する」という事業目標を掲げたケアを実践してきました。

信頼関係の構築が出来ていないことによる、ご家族様との情報の共有が出来ずに、ご迷惑をお掛けしてしまうことが多々ありました。その為、ご家族様への情報提供の内容を見直し、利用者様のプラス面の情報も意識的に行うことで、少しずつではありますが信頼関係を築きつつあると感じています。来年度は定期的に書面での情報提供を行うことで、面会に来られないご家族様にもたんぼぼの郷での生活の様子を提供していけたらと考えています。

・本年度は年間を通して事故が多く発生致しました。同様の事故を起こさないように、未然に防止する必要性を感じています。事故の性質を見極め、予測可能な事故を減らすべき事故防止に努めていきます。

・地域交流があまり進んでいない現状があります。町内会とのつながりや地域の方への情報発信を行い、今後は更なる関係強化をしていきます。

・介護人材確保を巡る環境は非常に厳しい状況が続いております。入職者もいるが退職者も発生するという現状です。入職者3名、退職者6名となりました。

平成 30 年度 小規模多機能 たんぽぽの郷事業報告

(小規模多機能型居宅介護)

平成 30 年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。
数値に関しては、平成 30 年 3 月 31 日現在の数値となっています。

1、 職員数

職種	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従
施設長		1 名	
管理者		1 名	
介護支援専門員		1 名	
介護職員	2 名	1 名	3 名
看護職員			2 名

2、 利用者状況

入居者年齢	男性	女性	全体
平均年齢		86.9 歳	86.9 歳

3、 年間利用実績

(1) 月別要介護度別登録人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介1	3	3	1	1	1	1	3	4	4	4	4	4	33
介2	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	3	32
介3	1	2	2	2	3	2	1	1	2	2	2	2	22
介4	2	3	2	1	1	2	3	2	2	1	2	2	23
介5	1	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1	14
合計	11	12	9	7	9	9	11	11	12	10	11	12	124

(2) 月別サービス別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	稼働率
通い	190	276	214	176	202	197	264	248	229	229	216	160	2,595	47.3%
宿泊	117	132	147	121	121	121	135	167	93	93	89	71	1,314	40%
訪問	56	58	49	17	29	29	25	23	59	36	41	36	453	
短期		5		23	4			5			16	5	58	

(3) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録	6	1	1	0	3	0	3	1	1	2	0	2	20
中止	1	4	2	1	0	0	1	1	3	0	0	2	15

(4) 中止理由

入院	特養	老健	有料	サ高住	GH	在宅	その他	合計
3	0	3	2	2	3	2	0	15名

(5) 健康管理

各ご家族にインフルエンザ予防接種をお願いしました。

ご利用者、職員共々、インフルエンザの発症はありませんでした。

(6) 事故・ヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
ヒヤリ	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2	1	7

4、防災訓練実施状況（グループホームと合同）

平成 30 年 9 月	平成 30 年 9 月 3 日（月）10 時～11 時 30 分 職員 6 名、利用者 21 名 合計 27 名で実施。 稲城消防署の方の訓練指導あり。 避難訓練（深夜中庭から出火の想定で、利用者の避難訓練実施） 通報訓練（119 番通報） 消火訓練（水消火器を使い、初期消火訓練を実施）
平成 31 年 2 月	平成 31 年 2 月 27 日（水）10 時～10 時 45 分 職員 7 名、利用者 24 名 合計 31 名で実施 避難訓練（深夜こもれびベランダより出火の想定で、利用者の避難訓練実施。シーツを利用して、自力避難困難者の避難の練習も実施

次年度、持越し課題

- ・防災備蓄の必要数の確保
- ・地震時の訓練の実施

5、運営推進会議活動状況（グループホームと合同）

開催日	主な内容
平成 30 年 4 月 14 日	利用状況報告、事業計画、第三者評価公表
平成 30 年 6 月 9 日	利用状況報告、事故、感染、身体拘束廃止
平成 30 年 8 月 4 日	利用状況報告、AED 研修
平成 30 年 10 月 13 日	利用状況報告、口腔ケアセミナー
平成 30 年 12 月 6 日	利用状況報告、特別養護老人ホームとは？
平成 31 年 2 月 16 日	利用状況報告、認知症サポーター養成講座

6、地域交流事業

平成 30 年 8 月 25 日「若葉台夏祭り」

→蒼の区町内会のお手伝いに職員が参加。生ビール売りを手伝う。

平成 30 年 12 月 13 日「餅つき」※ちょうふのぞみ保育園と合同開催

→みどりクラブゆうわ会（老人会）の婦人部の方のお手伝い及び

蒼の区町内会の参加あり。

7、委員会活動（グループホームと合同）

委員会	開催月	活動状況
広報委員会	発行月前月	たんぼぼ新聞の発行（季刊誌）
事故防止対策委員会	偶数月 15 日	事故内容検証、危険箇所チェック
感染予防対策委員会	偶数月 20 日	感染予防対策、呼びかけ、掲示
身体拘束廃止委員会	4 月、7 月、10 月、2 月	身体拘束チェック、
防災委員会	8 月、9 月、2 月	通報、避難訓練の計画、実施

8、職員研修

	外部研修	内部研修
4 月		倫理規程、法令遵守
5 月		緊急時の対応
6 月		感染症、食中毒予防
7 月		個人情報保護
8 月	高齢者虐待防止研修	事故発生、再発防止
9 月	応急手当普及員講習・認知症セミナー	
10 月		感染症防止、感染症対策
11 月		非常災害
12 月		
1 月	高齢者虐待防止研修	虐待防止
2 月		認知症
3 月		ケアプラン

8、行事・外出活動状況

月別	事業所内行事	外出行事	外食行事
4月		鯉のぼり見学	
5月		ばら苑（生田緑地）	
9月	花火	ぶどう狩り（山梨）	
10月	手作り昼食（そば）		
11月			
12月	クリスマス会 出張寿司		
1月	手作り昼食（おでん）		
2月	手作り昼食（巻寿司）		
3月		雛人形展	

9、考察

・本年度は「希望のご利用に添えるよう、笑いの声があるように演出する」という事業目標を掲げたケアを実践してきました。

利用者の身体状況、認知度、介護度に関わりがあり、共通の取り組みを行うことが難しく個別の対応を行うことで、利用者に関わり添うケアを提供し、笑いの声が聞こえるような演出にも取り組んできました。

・最大登録数25名ですが、3月末時点で10名と登録人数が伸びませんでした。

要因としては、職員の人員不足、営業不足、それに伴い、利用をお受けできなかったこともあり、利用登録に影響していると思われます。

既存の「デイサービス」や「ショートステイ」の組み合わせの利用で対応できるケースが多く、小規模多機能までの利用ニーズに繋がらないことや、新規の方などにとっては、利用イメージがつかみにくいようで、サービス内容をどのように理解して頂くかが課題となります。

・小規模多機能サービスの特性なのか、通い、泊り、訪問のサービスが受けられるため家族によっては「丸投げ」のように任せてくるケースもあり、家族の方に参加意識をもっていただけるよう誘導して頂くことも必要かと思われます。

・介護人材確保を巡る環境は非常に厳しい状況が続いております。入職者もいるが退職者も発生するという現状です。入職者2名、退職者4名となりました。